

週刊

1973年創刊

阿ることなく・恐れることなく

## 愛媛経済レポート

2016年(平成28年) 6月13日号 第2012号

DenCubic

# Pepper アプリを受託開発

企業の業務改善システムとしてオーダーメイド



実演する重松社長

同社は平成18年設立。健康食品のネット通販と中小企業向けのシステム開発を行う。このほど「ロボティクス事業」を新たに立ち上げ、自社にPepperを1基導入。Pepperのコミュニケーション能力を企業の実務に活かせるアプリケーションの受託開発に取り組む。Pepperは昨年6月、ソフトバンクロボティクス(株)が発売。多くのセンサーが組み込まれ、関節にあたる部分が自律的に動く。多言語での対話が可能で学習機能も持つ。来店客への声掛けや商品紹介、売場案内といった定型的な業務は用意されているテンプレートを使って行わせることができる。しかし、業種や会社ごとに異なる複雑な業務を実行させるには、専門的な技術者によるアプリ開発が必要。DenCubicはそれ

## ビジネス利用の拡大見込む

(有)DenCubic(松山市、重松伝社長)は、人型ロボット「Pepper」の業務アプリケーション開発を請け負う。集客のための話題づくりに留まらず、企業の業務改善に貢献するシステムとしてPepperの利用を提案する。今後県内でもビジネス用途での導入が拡大することを見込み、他社に先駆け、その需要を取り込みたい考え。

を有償で請け負う。

県内でPepperを導入している企業はまだ少ない。同社は「まずはその能力や可能性を知ってほしい」(重松社長)と、要請に応じ出張デモを実施している。

今年2月、新田高校(松山市)では同社のPepperが「ロボットと人間の共存について」の授業を行い、生徒らと会話もしてみた。5月には共栄火災海上保険(株)四国支店の研修会に参加し、保険業の顧客対応を想定したデモを実施。今後も「松山市内であればできるかぎりデモの要請に応じていく」としている。ソフトバンクは先頃、PepperのAndroid対応を発表。スマホアプリの開発環境として世界的に普及しているAndroidで、Pepperのアプリも開発できるようになる。これによりDenCubicは「Pepperのビジネス利用が加速する」と期待。開発要員の増員を検討するとともに、ソフトバンクロボティクスの開発パートナー認定も目指す。